

TOEIC テスト
究極のゼミ合宿
其の十四

THE NEW BEGINNING in KOBE

2016 年 9 月 17 日～19 日

兵庫県神戸市

濱崎潤之輔 & ヒロ前田

参加資格＝次の 3 つ全部を満たすことです。

①TOEIC の最新保有スコアが 600 点以上、985 点以下であること&スコア UP への執念をもっていること

「最新スコア」の取得時期は問いません。公開テストであれ IP テストであれ、あなたが申し込む時点で保有する最新スコアが基準です。いつ実施されたテストなのかは関係ありません。

②2016 年 9 月以降の TOEIC テストを受験すること

ご存じのように 2016 年 5 月の公開テストから、出題形式が少しアップデートされました。それを「新形式」と呼ぶことにします。今回の合宿では、すべての参加者が新形式の公開テストか IP テストを受験することが前提です。受験時期は問いません。半年後でも 1 年後でも OK です。

③音声再生機を持ってこられること

合宿開催前に、音声（MP3 形式）が入った zip ファイルを PC にダウンロードして、それを保存した再生機器を合宿会場に持ってきていただきます。スマホではなくパソコンでインターネットを使えることが必須です。そして、合宿会場ではその音声を聴くための機器とイヤホンが必要です。再生機はスマホでも IC レコーダーでも WALKMAN でも iPod でも大丈夫です。録音機器は必要ありません。



過去の合宿でも、このように再生機器を持ってきていただいたことが何度もありました。とても重要な持ち物ですので、忘れないようにしてください。

次のページへ進みなさい

どうも。前田です。今回で「究極のゼミ合宿」は第 14 回を迎えます。2016 年は春から夏にかけて 2 日間集中セミナーを開催してきましたので、今年の合宿は 2 回だけ。9 月と 10 月に実施します。両方とも、(以前は年に 1 回だけだった) 2 泊 3 日バージョンで行います。

「其の十四」のテーマ

2016 年 9 月に開催する合宿が「其の十四」で、10 月は「其の十五」となります。(10 月 8 日~10 日に神奈川県で実施。同じ内容です) このタイミングで開催することは、1 月の時点で決めていましたが、どんなテーマでやるかは決めていませんでした。

これを読んでいるあなたは知っているように、2016 年 5 月から TOEIC 公開テストの出題形式が少し変わりました。が、IP テストについては、2017 年 3 月末までは従来と同じです。ですから、合宿のテーマを決める前に、どちらのテストを想定するか検討しました。4 月ごろ濱崎さんと話し合った際に、こんな話になりました。

ハ「今年、世間では新形式ばかりが話題になりますよね」
マ「ですね。でも、IP テストを受験する人の方がやや多いかもしれません」
ハ「新形式のテストに占める、旧形式問題って、かなり多くないですか？」
マ「多いです。まだ、新形式の合宿はやんなくてもいいでしょ」
ハ「そう思います。旧形式なら ETS が韓国で出してきた良い教材がいっぱいありますし」
マ「新形式だと、今年の秋までに公式教材は出ないでしょうね」
ハ「それに、僕らが新形式の経験が豊富じゃない時期に、合宿やるのは大丈夫ですかね」
マ「じゃ、とりあえず旧形式でやることにして、夏になったら再検討しましょう」

ところが、2 日間セミナーを全国で開催すればするほど、ボクたちがやっている「新形式を想定した講義」が悪くないと言うか、まあ、かなりマトモな内容になっていると判明しました。言い換えると、実際のテストが想定範囲内だと分かったということです。

ですので、7 月に仙台でマグロ丼を食べながら 2 人で話し合ったときには、考えが変わっていました。「新形式を想定した合宿にしよう」と。しかも、**新形式問題に特化した**内容にすることに決めました。

さらに、「形式」だけにフォーカスするのではなく、スキルにもフォーカスすることにしました。新形式の公開テストで成功するために最重要だとボクたちが考えるスキルです。

ヒトコトで言えば……

ストーリーの理解

これです。ストーリーの理解。別の言い方をすれば、「単語ではなく文脈を理解すること」です。新形式の問題が試している力です。どのパートであれ。例えば、パート3とパート4に新登場している「発話の意図や動機を問う問題（意図問題）」とか「グラフィック問題」は、明らかに単語の理解ではなく、ストーリーの理解を求める形式です。パート6の「文選択問題」も、パート7の「文を入れる位置を選ぶ問題（位置選択問題）」も同じ。そして、トリプルパッセージの全てのセットに、ほぼ確実に出题されるようになった「同義語問題」もストーリーの理解を試す問題です。パート5が10問減ったことで、当然「語彙問題」も減りましたが、代わりにパート7で増えています。パート5では「普通の語彙問題」が減り、パート7で「与えられた文脈における意味を問う同義語問題」が増えたのです。

「単語だけ聞き取って何となく選びました」とか、「単語だけ拾って読んでいって、何となく選びました」みたいなこと続けていると、英語力が伸びないのはもちろん、TOEICのスコアだって伸びませんよ。または、短期的にグインと伸びても、そこでピタッと止まります。きっと。

パート3の会話を聞いた直後に「はい、どんな会話でしたか？」と聞かれたとします。どんな答えができそうですか。拾った単語をいくつか思い出し、何となくつないで、「こんな感じ」で終わっているようでは、まったくの論外です。ストーリーを再構築できるかどうか重要。「どんな話なのか」を理解して思い出せること。それが大事です。

要するに……

わ か っ 理解してんのか？

これを合宿のテーマに据えます。扱うのは、パート3、パート4、パート6、パート7だけ。

単語からストーリーへ

単語の理解よりストーリーの理解を試す問題が以前より圧倒的に多い。これが新形式の特徴です。これに対して、「単語を理解すればストーリーを理解することになるでしょ。ストーリーは単語の集まりなんだから」と思っている人が世の中にいるそうですが、答えは**No.**です。完全にノー。そういうことを信じている人は、きっと文法力が低いです。助動詞や時制などが演出するニュアンスや、話者の「気持ち」や「意図」を汲み取る力が低い。

次のページへ進みなさい

または、「**リンク**」に**気づく力**が低いのかもしれません。詳しい説明はしませんが、新形式問題に対処するうえで、最重要と言っても過言ではないスキルは、リンクに気づく力です。

「其の十四」では、ストーリーの理解を重視している新形式問題に焦点を合わせ、ひたすら練習していただきます。理解→実践 理解→実践 理解→実践 理解→実践 理解→実践 のように。

「断片的に情報を拾って、なんとなく答えを選んでいる」

それじゃ、はっきり言ってダメです。D、A、M、E。ダメ。

「文脈から考えると、(A)は**一瞬で消せた**」

「ストーリーを踏まえると、(B)と(D)は**丸出^{まるで}ダメ**夫だった」

今後は、こんなセリフを言えるように脳ミソを改造するべきです。それが、おそらく **ETS** の狙いでもあるでしょう。ま、**ETS** が何を考えているかは気にしないにしてもハイスコアを目指すならば、「文脈」「ストーリー」を丁寧に理解する姿勢を確立することを強く推奨します。

合宿が終わってからがスタート

合宿中は演習や講義がメインですが、大切なのは合宿が終わってからです。合宿に限ったことではありませんが、イベントは「きっかけ」です。成果を出すための、きっかけでしかありません。ですから、ボクたちは結果を保証しません。なぜなら、合宿が終わった後の、あなたの行動を決めるのはあなたですから。ボクたちは願うだけ。あなたが、**学んだことを実践しまくる人**になることを。

教官は濱崎さんとボクです。今年は春から 2 人で 2 日間集中セミナーを何度もやってきました。その参加者の声を少し紹介します。

「**HUMMER** 講師の 1 問も落とさないように編み出したノウハウを余すところなく聞けてよかったです。」「前田先生、濱崎先生の本で紹介されていたとりくみ方を実際に目の当たりにして、より理解できたし、トレーニングして自分のものになんとかしたいと思いました。」「今自分がしていることに、不足しているのが何かわかり、よかったと思います。」「本文を確実に記憶できるほど読んだほうが良いと聞いてびっくりしました。これまでは、あせって読み飛ばしていたので考え違いをしていました。」「新形式だからといって決して恐れることは無いということも、今回のセミナーでわかりました。市販の問題集に載っていない、細かいテクニックも複数学べてよかったです。どうもありがとうございました。」「独学では限界があったので、今後セミナーで学んだことプラス自分の努力で目標スコアを目指します。」「今回復習のやり方をしっかり覚えたことは自分にとって財産になると思います。文章の読み方が甘すぎたと反省しています。今後、学習スタイルはがらりと変わると思います。」「**TOEIC** を研究しつつされている先生方の講義は、目からウロコと思えることが多かったです。」

次のページへ進みなさい

わ か っ 理解してんのか？

これに徹底的にこだわる 2 泊 3 日にします。ボクたちが想像する参加者は、こんな人々です。

1. TOEIC の受験や英語学習が好きな人
2. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
3. 学習意欲の高い人たちと一緒に、次のステージを目指して歩み始めたい人
4. 継続的に学習するようになるためのきっかけが欲しい人
5. 精神を鍛えたい人
6. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
7. 己を律する力を高めたい人
8. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
9. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
10. このリストがドンドン短くなってきていることに気づいている人

約 30 時間、ヤル気度が高い人たちと一緒に、ただひたすらに英語漬け&TOEIC 漬けになりませんか。脳ミソが溶けようが鼻血が出ようが知ったことではありません。あなたの可能性を制限しているリミッターを外しましょう。

タイムテーブルを大まかに作ってみました。だいたいこんな感じです。

Day-1	2016 年 9 月 17 日 (土)	13:00~23:00 (勉強だけ)
Day-2	2016 年 9 月 18 日 (日)	7:30~23:00 (ほぼ勉強だけ)
Day-3	2016 年 9 月 19 日 (祝)	7:30~18:00 (ほぼ勉強だけ)

演習、講義、質疑応答などの「勉強時間」が、だいたい 30 時間あります。90 分×20 回分に相当するので、この合宿だけで大学の 1 学期より多いですね。

次のページへ進みなさい

初日が**23時**で終わる保証はありません。もう少し遅くまでやるかもしれません。フレキシブルな時間割。それも合宿のメリットだと考えてください。ひたすら学ぶ。日常とは違う体験をする。ひとりでは味わえない学びを味わう。一緒に、やれるだけやってみましょう。教材はこれです。

新形式&苦手領域を手厚く

『TOEIC テスト 新形式問題やり込みドリル』（アルク／2,052 円）という本を使います。ボクの新刊です。発売は合宿の直前か直後なので、「中身を確認してから参加する」のは不可能。合宿現場で配布します。参加者全員が合宿現場で初めて本書を手にするのを想定するため、予習は不要です。（どっちみち予習は不可能だと思います）

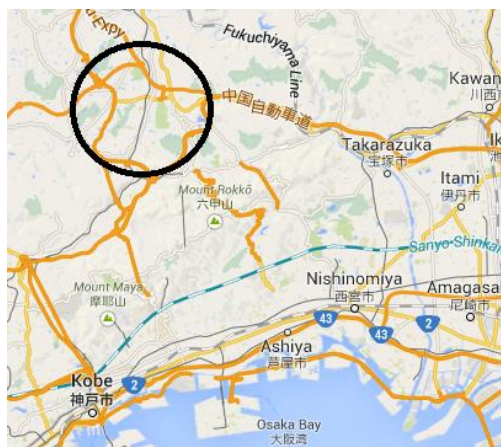


この本を使う理由は3つあります。まず、新形式問題しか扱っていないことです。この本には、**Part 3**と**Part 4**、そして、**Part 6**と**Part 7**の練習問題が**321**問も収録されています。普通の模試は半分以上が旧形式なので、今回の開催趣旨に合うのはこっちだと判断しました。

2つ目の理由は**苦手領域を手厚く**することです。セミナーで出会う人々から聞く話や、TOEIC 関連ブログから、多くの人が不安を抱える出題形式と、そうでない出題形式があることが判明しています。この本はそれを踏まえて設計されています。例えば、話者や書き手の意図を問う「意図問題」は**110**問も収録されています。これは実際のテストに換算すると**15**回分を超えます。

3つ目の理由は、この本が**合宿向きの構成**になっていることです。「1問解いて、すぐに解説を読む」ではなく、「8問連続で取り組んでから答え合わせ」といった構成です。詳細は省きますが、合宿に向いているのは後者です。

解答するだけなら**2泊3日**も必要ありませんが、解くために合宿を開催するわけではありません。講義や質疑応答、丁寧な復習、学習法の実践などなど盛りだくさんです。



「其の十四」の参加費は教材費込みで**45,000 円**（税込）です。この中に、宿泊（**2泊**）＋食事（**6回**）＋授業など（約**30時間**）＋教材（**1冊**）が含まれています。計算すれば分かりますが、かなりお得な設定です。なお、「其の十五」も料金設定は同じですが、教材の自己手配が可能のため、見た目の参加費は少し変わります。

会場は黒丸の辺りです。新神戸駅や三宮駅、または三田駅から行きやすい場所です。周辺には道路と空気しかないので、勉強するにはもってこいの環境です。

次のページへ進みなさい

すべてのセッションが研修室内で行われます。



「自由」を完全に失う覚悟をしてください。



神戸で使用する施設は、とても快適です。



ちなみにこの合宿の PV が YouTube にあります。現場の雰囲気を見ることができます。

→ <https://youtu.be/kTcSKxRkZSQ>

次のページに進みなさい



日時：2016年9月17日（土）13時～19日（祝）18時 ＊初日の集合は12:30前後

会場：兵庫県神戸市（新神戸駅から30分程度の駅が最寄り駅）

定員：28名（多少前後する可能性あり／全員シングルルーム）

教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田

費用：参加費45,000円（税込／2泊6食付き／教材費1,800円を含む）

＊教材は「自己手配」の有無に関係なく提供されます。

ご注意ください

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**第一次申込締切日は2016年8月28日（日）の24時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。（ただし、ほぼ毎回「キャンセル待ち」が発生しているので、その可能性は低いです）

ご入金の方法はメールでお知らせします。**ご入金後のキャンセルには最大1万円の取消料が発生します**ので、確実に参加できることを確認してからお申し込みください。

「申し込みだけして、後でキャンセル」というケースがありますが、それが原因で、日程的には参加できるのに席がないから参加できない人が発生します。やむを得ない事情がある場合は仕方ありませんが、参加可能であることを確認してからお申し込みください。

申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の十四」への参加を希望される方は、下のフォームからお申し込みください。（完了後、自動でメールが送られ、ご入金方法が伝えられます）

[お申込みはこちら](https://ws.formzu.net/dist/S55019562/)

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S55019562/>

（スマートフォンからも申込可能ですが、**PCで読めるメールアドレス**をご登録ください）

次のページへ進みなさい

受講特典

ちゃんと利用すれば、これらは強力なメリットになります。1つ目の「質疑応答」には有効期限がありますので、ご注意ください。

質疑応答

合宿で使う本に収録されている練習問題について、質問していただければ回答します。通常、1日～3日以内に返事を差し上げています。質問には個別にメールで対応します。ただし、無期限で受け付けるわけにはいかないので、**2016年11月30日まで有効**とします。

「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに、合宿参加者専用の交流スペースがあり、130名以上が利用しています。スコア報告をする人、学習記録を書く人、雑談を書く人、いろいろです。あくまでも「特典」ですから、利用は必須ではありません。facebookを使っていない場合は、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。



追伸

今年は「Starting Over 2016 Japan Tour」で、全国7大都市で2 Day セミナーを開催してきました。

全国のやる気漲る最高に熱い学習者のみなさんと、意義ある時間を共に過ごすことができました。今回開催される「究極のゼミ合宿 其の十四 神戸」は、久しぶりの合宿となります。

前回の「其の十三 愛知」が昨年10月でしたので、約1年ぶりの開催です。

セミナーにはセミナーの良さがあります。

合宿には合宿の良さがあります。

合宿の良さは「密度の濃さ」です。

その「濃さ」とは何なのかを、是非、体感しにきてください、そしてご自身の血肉とし、目標達成のための原動力とされてください。

TOEIC テストに対するために必要な「濃い」力だけでなく、他の「濃い」経験をきっと味わっていただけると自負しています。

濱崎潤之輔

次のページへ進みなさい

関連リンク

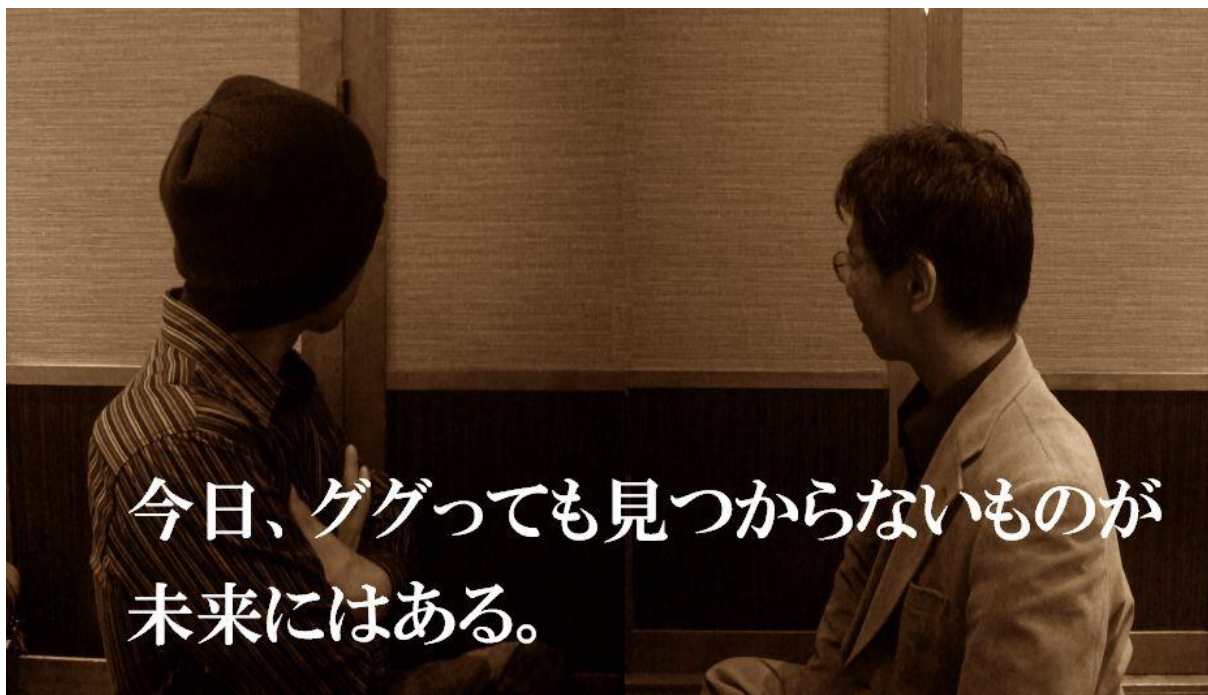
過去の参加者の声 http://hiromaeda.info/zg/?page_id=157

1つの教材を徹底的に使って理解を深めるという復習の仕方を学ぶことで、英語に対する姿勢が変わった気がする。また、Facebookのグループで他の参加者がひたむきに頑張っている姿を見ることが、TOEICを卒業後も発奮できていることに感謝している。

(MMさん／自由業)

問い合わせフォーム <https://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P7053673>

(合宿に関することで申し込む前に確認したいことがあればコチラからどうぞ)



あなたの未来は、あなたが創る。

これで終わりです